



大森六中だより

令和5年 9月号
大田区立大森第六中学校
統括校長 菅野 哲郎
TEL 3726-7155

六中だよりはHPからも
ご覧いただけます。



暑い夏

とにかく暑い夏でした。9月の半ばを過ぎても暑い日が続きます。「地球温暖化」という言葉を耳にしてから、毎夏暑さが増しているように感じていましたが、とうとう「地球沸騰化」という言葉が登場しました。その影響は洪水や山火事など人命にかかわる大きな災害をもたらしています。ハワイ・マウイ島で発生した山火事はラハイナの街を呑み込み、115人の死者と今なお66人の行方不明者を出しています。9月11日にはリビア東部の街デルナで洪水が発生し、街の3分の1が消失、1万人以上の行方不明者が出ています。

思い起こすと自身が中学1年生の頃、1999年7月に人類が減ぶと预言する「ノストラダムスの大预言」という本が大流行しました。経済発展とともに問題となっていた公害や、アメリカとソ連の核開発競争による核戦争の恐怖もあり、あたかも過去のヒトラーの出現など预言したことが事実となったと喧伝され、世紀末を迎えていることに怯えたことを覚えています。しかし、これは創作された小説に過ぎず、当然に現実となることはありませんでした。

一方で現在発生している地球的な危機は、スイスのヴィンタートゥールに

本部を置く民間のシンクタンクの「ローマクラブ」が、1972年に発表した報告書「成長の限界」で予測されています。これはもちろん小説などではなく、人口増加や経済発展から科学的に予測しているものです。そして、単に危機を煽るのではなく、危機を避けるために人類が向かうべき方法を提示しています。この報告書が世に出てから遅れること43年後、2015年の国連総会でSDGsが採択されました。南北問題や大国同士の覇権争いなど、利害関係が衝突する中において、持続可能な社会を作るために17の目標と169のターゲットをまとめ上げ、採択にたどり着いたことは画期的なことです。

しかし、目標を定めても達成するための具体的な行動が為されなければ危機は避けられません。ゴールに定めた2030年まで後7年。既に折り返しを過ぎました。気候変動への対策としての脱炭素の取組や、海洋プラスチック問題への対策としての脱プラスチックの取組などは、個人の行動にとどまらず、社会システムの変革が求められています。そのために中学生がどのように働きかけることが出来るかを六中では今、生徒全員が考えています。

夏休み中の活動

★ラジオ体操

8月4日（金）大森第六中学校グラウンドから、ラジオ体操の生放送が全国に流れました。朝早くから六中生のほかにも多くの地域の方が集まり、音楽に合わせて体操を行い、気持ちのいい朝となりました。



★部活動

吹奏楽部は、8月17日（木）に府中の森芸術劇場で開催された第63回東京都中学校吹奏楽コンクールに出場しました。8日間に渡り開催されたコンクールの最後を飾った本校は、自由曲「スプリングフィールド」を演奏し、銀賞を受賞しました。一人一人の想いと音が重なり、部員の心がひとつになって臨んだコンクール。聞いた人の心に届く素敵なステージでした。



★キレイキレイ活動

8月4日（金）にキレイキレイ活動が実施されました。たくさんの生徒や保護者の皆様にご参加いただき、普段の美化活動では行き届かない廊下や教室のレールなどの清掃を行うことができました。おかげで気持ちよく2学期を迎えることができました。



生徒会役員選挙

9月8日（金）に生徒会立合演説会が行われ、会長1名、副会長2名、書記3名、厚生2名、中央委員長1名が新しく決まりました。10月からは新生徒会がスタートするとともに、各委員会の委員長も3年生から2年生へバトンタッチを行います。



持続可能な社会の担い手づくり

大田区立大森第六中学校 研修ユネスコ委員会

夏期巡回ラジオ体操

小学生の夏休みというとラジオ体操を思い出します。今年は本校が会場となり、860人以上の方が朝早くから集まり、6:00からリハーサル6:30から本番を迎え、元気なかけ声と一緒に体を動かしました。在校生も多少集まり、普段の校庭の様子とは違った雰囲気でした。最初に「大田区は羽田空港があり外国からの玄関口になっており、風光明媚な洗足池は勝海舟が愛した土地で今年生誕200年を迎えます。ここ大森第六中学校は勝海舟の別邸がありました。」と紹介されました。

青空の下、暑くはありましたが、とても気持ちのよい朝でした。



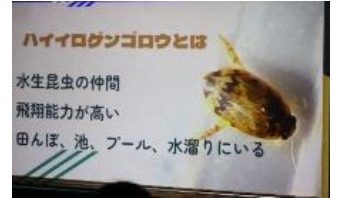
洗足池自然講習会

今年の夏も洗足池で水難事故を防ぐためのボート教室と自然講習会を行いました。小学生16名、中学生16名がボートのこぎ方を洗足風致協会の事務局長守屋さんから教わり、30分ほど池を1周しながら、ローボートのこぎ方を習得しました。

その後、守屋さんから洗足池の歴史についてお話いただき、洗足池の周辺に遊園地があったこと、中原街道の変遷を写真でわかりやすく説明いただき、「へえ」など感嘆の声が上がりました。さらに、自然科学部が研究発表の時間をいただき、

小学生に聴講してもらいました。日頃の研究テ

マを発表し、達成感を感じたようです。



ゴーヤ給食

今年もゴーヤグリーンカーテンを設置し、夏休み中各クラスが当番で、水やりに来ていました。その甲斐あって、たくさんの実がなり、5日(火)給食にゴーヤかき揚げ丼として食べました。「苦い」といいながらも、みんな笑顔の給食でした。

